

若者による気候変動の解決を導くビジョン 作成を通じた活動の拡大と提言の影響力強化

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

意見交換会の回数

10回

COPへのメンバー
派遣

4人

今年度計画の達成度

70%

目標達成度

90%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

組織の大型化に伴い、メンバーのモチベーションに差が生まれたため、全体としての活動方針の決定に苦労した。

■工夫した点

メンバーを興味関心ごとにグルーピングし、勉強会や意見交換の機会を設けることで、個人単位での需要を満たすとともに、メンバーの有機的な繋がりも維持できるようにした。



COP26参加者の集合写真

課題

気候変動問題が現実的な問題として認識されていない、あるいは特に地方において情報摂取機会が限定されている。また青年の意見が政策に反映されにくい。

目標

日本青年の意識が向上し、気候変動問題解決を目指して多くの青年が行動する、また気候変動対策に対して青年の意見・ビジョンが反映される。

活動内容と成果

ライフスタイルに関連して、二つのプロジェクトを始動した。コンポスト、菜食について、メンバー自身の体験とそれに基づく対外発信を行うことで、若者のライフスタイル転換のきっかけ作りを図った。また、対外的な提言活動では、自民党やNIKKEI脱炭素シンポジウム、農林水産省官民円卓会議など様々な場で多くの団体メンバーが発信し、政策や企業活動への働きかけを企図した。さらに、国際会議であるCOPに4人のメンバーが参加し、現地で日本の脱炭素の取組みなどを紹介するとともに、帰国後は報告会をオンラインで開催した。



原子力発電視察



プラントベースプロジェクトの活動

全助成期間の活動を振り返って

3年間の活動を通じて、団体として大きく飛躍できたと考えている。こう考える背景には2点ある。1点目に、政策提言などの機会の大幅増加である。特に首相や環境大臣、農水省、企業連合体に対してなど、大きな場での発言機会も得ることができた。2点目に組織の大型化である。3年間で団体メンバーを3倍以上に増やすことに成功し、組織としての多様性を広げることができた。

〒248-0024
神奈川県鎌倉市稲村ガ崎4-10-11
電話：090-4418-0900
E-mail: climateyouthjapan@gmail.com
HP: <https://climateyouthjapan1.wixsite.com/mysite>



今後の展望

今後は、団体としてこれまでに蓄積した経験や知識をいかし、積極的に対外活動を増やしていきたい。具体的には、地方自治体や企業、中央省庁などあらゆるステークホルダーと協働しながら活動の輪を広げるとともに、持続的な気候変動解決という組織としての最終目標に向けて着実に歩を進めたい。